

富士通グループの環境経営

グローバルICT企業としての使命を認識し、環境負荷の低減を追求しながら、お客様・社会とともに持続的な成長・発展をめざしていきます。

■ 環境経営の原点は「自然と共生するものづくり」

1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループは、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。

■ 社会やお客様とともに成長していくために

低炭素社会の実現は人類にとって21世紀最大のテーマの一つとなっています。そのために必要なのは、社会全体で環境に配慮した働き方や暮らし方を追求していくことであり、それらをさまざまな側面から支えるICTの重要性がますます高まっています。

富士通グループでは、こうした状況を踏まえて、「富士通グループ環境方針」を2011年4月に改訂しました。富士通グループ環境方針は、富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために、理念と行動指針を明文化したものであり、今回の改訂では、行動指針の1つに「環境と経済の両立に貢献するビジネスを積極的に推進します。」を掲げました。これは、お客様や社会の環境負荷削減に貢献するのはもちろん、それをビジネスの成長にもつなげていくことで、富士通グループがお客様や社会とともに持続的な成長・発展を遂げていくことをめざしたものです。

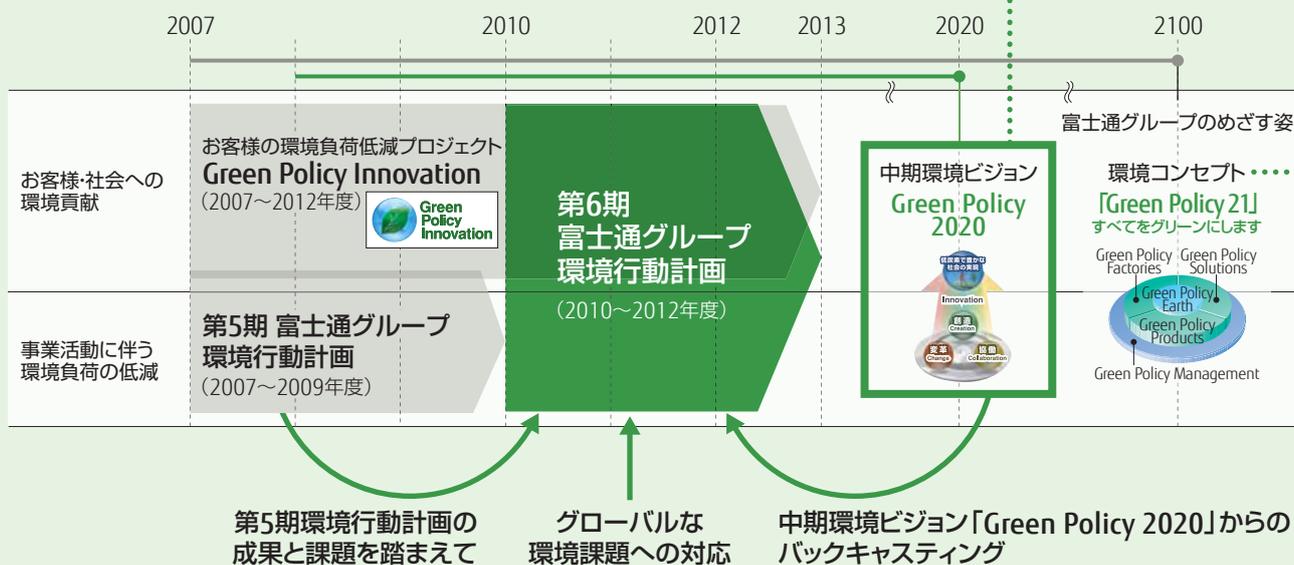


富士通グループ環境方針
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/policy/>

環境活動のあゆみ

- 1935年 川崎工場建設時、初代吉村社長の提言により庭園様式を取り入れる
- 1938年 川崎工場竣工
- 1972年 各工場に環境管理課設置
- 1989年 環境対策委員会発足
- 1991年 環境技術推進センター発足
- 1992年 富士通環境憲章制定
- 1993年 第1期富士通環境行動計画策定
- 1997年 国内全製造工場にてISO14001認証取得完了
- 2000年 環境本部発足
- 2002年 富士通グループ環境方針制定
- 2006年 海外グループ会社を含めたISO14001のグローバル統合認証を取得
- 2007年 グリーンICTによるお客様の環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」をスタート
- 2008年 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」策定
- 2009年 富士通グループ生物多様性行動指針策定
- 2010年 第6期富士通グループ環境行動計画策定

富士通グループの環境活動体系



■ 明確なコンセプトとビジョンのもとで

また、環境経営の原点である「自然と共生するものづくり」をグループ全社員に浸透させるために「Green Policy 21」という環境コンセプトを定めています。このコンセプトのもと、あらゆる事業領域で継続的に環境活動を実践しています。

さらに、2020年をターゲットとして富士通グループが果たすべき役割と方向性を示したのが、中期環境ビジョン「Green Policy 2020」です。「お客様・社会全体への貢献」「自らの変革」「生物多様性の保全」を3つの目標として掲げ、これらを実現するための取り組みテーマを設定しています。

WEB 環境コンセプト「Green Policy 21」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/concept/>
 中期環境ビジョン「Green Policy 2020」
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/approach/vision/>

■ グローバル目標に基づく環境負荷の低減を

Green Policy 2020の達成に向けて、2007年12月からグリーンICTの提供による環境負荷低減プロジェクト「Green Policy Innovation」を推進しています。

Green Policy Innovationは、富士通グループが培ってきた環境保全に関するテクノロジーやノウハウを活かしたソリューション、ICTインフラをお客様に提供することで、お客様や社会全体の環境負荷低減をめざすものです。2009年12月には、「2009

年度から2012年度の4年間でグローバルに累計1,500万トン以上のCO₂排出量削減に貢献」という目標を設定し、世界各地と連携を図りながらグリーンICTの提供を推進しています。

■ 環境活動をグローバルに強化する新環境行動計画

そして、2010年4月、Green Policy 2020からのバックキャストイングと、気候変動や生物多様性保全など近年のグローバルな環境課題を踏まえて、2010年度から2012年度における「第6期富士通グループ環境行動計画」を策定しました(P37-38)。

今後も、環境行動計画をグループ一丸となって着実に実践し、低炭素で豊かな社会の実現をめざしていきます。

ITサービス業界で初の「エコ・ファースト企業」に認定



2010年9月、富士通グループは、環境省の「エコ・ファースト制度」における「エコ・ファースト企業」として認定されました。ITサービス業界では初の認定です。

「エコ・ファースト制度」は、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動をさらに促進するため、各企業が環境大臣に対して、地球温暖化対策や生物多様性の保全など、環境保全に関する取り組みを約束する制度です。

中期環境ビジョン「Green Policy 2020」

Green Policy 2020では、テクノロジー・ソリューションの「創造」と、さまざまな主体との「協働」に取り組むとともに、富士通グループを低炭素型の企業活動へ「変革」することを掲げています。これらを通じて、「低炭素で豊かな社会の実現」をめざします。



環境コンセプト「Green Policy 21」

地球規模の環境活動を「Green Policy Earth」と名づけて中核に据え、これを実現するための具体的な活動を「Green Policy Products」「Green Policy Factories」「Green Policy Solutions」、さらに、これらの活動を支える仕組みを「Green Policy Management」と位置づけています。

すべてをグリーンにします

